

ローカルだけどグローバル！
大好きな岡山を拠点に
世界へと羽ばたいていく



草野由香さん
株式会社全備
テクニカルサポート部勤務
岡山県立岡山城東高等学校
吉備国際大学
外国語学部 外国学科 卒業



どこに行くかじゃなく、 「そこで何をするか」を大切に

父の仕事の関係で、アメリカに5年、香港に5年ほど滞っていて、高校進学を機に両親の地元・岡山へ。そこで感じたのが、岡山には魅力がたくさんあること。うらじゃ祭りや岡山後楽園など、文化も歴史もある。でも、岡山の良さが意外と知られてないですよね。だからこそ、岡山をもっと知りたいという思いが強くなっていきました。

大学進学でも、その思いは変わりませんでした。同級生の多くは県外へ進学し、逆に岡山に残る人はごくわずか。友達と離れる寂しさはありましたが、私は「有名だから、都会だから、友達が行くから」という理由で大学を選びたくはなかったんです。大好きな地元で活躍し、地元の人たちと協力し、地元に貢献したい。何より「そこで何をするか」を大切に、大学選びを進めていくなか、留学カリキュラムが必須の吉備国際大学外国語学部存在を知りました。私が1期生という新しい学部で、自分の手で学部を盛り上げていくことにも魅力を感じました。



キラリと光る地元企業に勤め 地元いながら世界とつながる

吉備国際大学で積極的に取り組んだのが「生き方」という授業。国内外で広く活躍する企業の社長の講義で、特に心に響いたのが「海外を意識するなら、日本や地元のことも意識する必要がある」ということ。グローバルな視点とローカルな視点、その両方が大切だということを学びました。また、留学で半年間滞在したリトアニアでは、語学の勉強はもちろんですが、外国で働くことを考えるいい機会となりました。

卒業後は地元の商社に就職。友人からは「海外や都会で就職しないの？」と聞かれることもありましたが、岡山にもグローバル企業はたくさんあります。まずは地元の強みや地元企業について知ることからと思い、就職は岡山に決めました。商社という業種でもあり、さまざまな人と出会う場面が多くあります。配属部署は海外取引を中心に行うため、世界を相手に仕事もできています。都会や海外でなくても、さまざまな人と出会い、グローバルな仕事ができる。そのことに、とてもやりがいを感じています。

My memory

きっかけ



岡山の祭り「うらじゃ」を通じて地元の魅力を再認識。地元で活躍し、地元の人たちと協力し、地元に貢献したい。さらに、私を育ててくれた岡山を海外に伝えたいと思い、海外事業部がある企業を志すように。

大学選びの視点



留学カリキュラムが必修で組み込まれていることが、吉備国際大学進学を決め手に。2014年に開設されたばかりの学部だったため、自分自身の手で外国語学部を盛り上げていけることにも大きな魅力を感じた。

仕事仲間のメッセージ

のみ込みが早く、明るくてしっかり者

草野さんの一日のスタートは、気持ちの良い挨拶から。いつも笑顔で元気な彼女は、全体の空気をバツと明るくしてくれる存在です。一緒に働いている部署は、海外と取引するため、一見華やかに見えますが、

業務内容はとてもハード。部品や機械などの専門用語を英語に訳すため、勉強の毎日です。さらに、お客様と工場との間に立ってやりとりするため、気遣いも求められる仕事なんです。草野さんはのみ込みが早く、仕

事のセンスもいい。彼女だから信頼して仕事を任せられています。最近は後輩もでき、面倒もしっかり見てくれています。チームを引っ張っていける存在になるよう、これからも期待しています。